

支部報告

北海道支部

月山会活動報告

月山会会長

磯部 勝彦
(昭和52年農業工学科卒)

9月6日に「胆振東部地震」が発生し、厚真町をはじめとする胆振地方では大規模な山崩れがあり、札幌市などの石狩地方では液状化による被害がありました。前日の5日には台風21号による暴風で農業施設などの被害、倒木があり、それらの片づけを行えないまま地震が起つてしまつた状況でした。

北海道全域で停電が起き、水道も使えない地域もあるなどのライフラインの問題や、信号機が点灯せずバスも運休となるなど交通面の影響が続きました。そして、ガソリンの需要急増によるガソリン供給異常が起きておりました。

また、電気供給停止による冷蔵、冷凍が維持できなくなつたことにより、北海道の重要な産業である酪農業、水産業も大きな影響を受け、地震による直接的な被害がない地域まで多大なりました。

会員の皆様から寄せられましたメッセージの中には、今回の地震で自宅、会社が被災されたという方や、7月に起きた西日本豪雨による派遣中の方もおられました。



月山会(北海道支部) 平成30年9月29日(土) 於: TKPガーデンシティ札幌駅前

庄内支部

支部長 高橋 敏能
(昭和45年農学科卒)



講師: 佐久間 麻都香氏

本年10月27日(土)農学部会館において林田光祐農学部長と佐藤晨一鶴窓会会長を御来賓にお招きし、鶴窓会庄内支部会員22名(全会員数522名)参加のもと平成30.

31年度総会が開催されました。林田農学部長から昨今の農学部の状況が報告されました。来年度から学科改組を予定しているお話しでした。また、新しく幹事長に就きました。また、8名が新しく役員として加えられて、本支部の活性化に向けてスタートすることになりました。従来、慣例として支部総会と隔年開催していた「農業者の会」は、より多くの参加者を募るために「庄内農業を語る会」と幅広い名称に改められ、ハガキで案内を希望するアンケート調査の結果、約40の支部会員がいたようです。

総会終了後、佐久間麻都香氏(H20卒・H25院修)の講演(演題:「欲しい未来は自分たちの手でつくる」)が行われました。氏は海外青年協力隊として「アフリカのブルキナファソに渡り、水稻新品種の普及活動を行った経験談を話されました。現在は、「鶴守人」の代表として活躍中です。

村山支部

支部長 大内 崇
(昭和46年農学科卒)

本年10月27日(土)農学部会館において林田光祐農学部長と佐藤晨一鶴窓会会長を御来賓にお招きし、鶴窓会庄内支部会員22名(全会員数522名)参加のもと平成30.31年度総会が開催されました。林田農学部長から昨今の農学部の状況が報告されました。来年度から学科改組を予定しているお話しでした。また、新しく幹事長に就きました。また、8名が新しく役員として加えられて、本支部の活性化に向けてスタートすることになりました。従来、慣例として支部総会と隔年開催していた「農業者の会」は、より多くの参加者を募るために「庄内農業を語る会」と幅広い名称に改められ、ハガキで案内を希望するアンケート調査の結果、約40の支



庄内支部総会 平成30年10月27日(土) 於: 農学部会館

村山支部

支部長 大内 崇
(昭和46年農学科卒)

本年10月27日(土)農学部会館において林田光祐農学部長と佐藤晨一鶴窓会会長を御来賓にお招きし、鶴窓会庄内支部会員22名(全会員数522名)参加のもと平成30.31年度総会が開催されました。林田農学部長から昨今の農学部の状況が報告されました。来年度から学科改組を予定しているお話しでした。また、新しく幹事長に就きました。また、8名が新しく役員として加えられて、本支部の活性化に向けてスタートすることになりました。従来、慣例として支部総会と隔年開催していた「農業者の会」は、より多くの参加者を募るために「庄内農業を語る会」と幅広い名称に改められ、ハガキで案内を希望するアンケート調査の結果、約40の支

部会員がいたようです。



村山支部総会 平成30年10月21日(日) 於: 山形国際ホテル

庄内支部

支部長 高橋 敏能
(昭和45年農学科卒)

本年10月27日(土)農学部会館において林田光祐農学部長と佐藤晨一鶴窓会会長を御来賓にお招きし、鶴窓会庄内支部会員22名(全会員数522名)参加のもと平成30.31年度総会が開催されました。林田農学部長から昨今の農学部の状況が報告されました。来年度から学科改組を予定しているお話しでした。また、新しく幹事長に就きました。また、8名が新しく役員として加えられて、本支部の活性化に向けてスタートすることになりました。従来、慣例として支部総会と隔年開催していた「農業者の会」は、より多くの参加者を募るために「庄内農業を語る会」と幅広い名称に改められ、ハガキで案内を希望するアンケート調査の結果、約40の支

部会員がいたようです。

卒・H25院修)の講演(演題:「欲しい未来は自分たちの手でつくる」)が行われました。氏は海外青年協力隊として「アフリカのブルキナファソに渡り、水稻新品種の普及活動を行った経験談を話されました。現在は、「鶴守人」の代表として活躍中です。

岡ナリワイプロジェクト」に参加して、放置された柿の木を活用するビジネスを考える「柿守人」の代表として活躍中です。

経済的損失となる状況となつてしましました。

今回の地震により、胆振地方の農地も多大な被災を受け、現

在、災害復旧事業による復旧に向け、災害査定が進んでおり、12月まで行われる見込みとなつております。

さて、鶴窓会北海道支部の恒例行事となりました月山会を

9月29日土曜日16時から、札幌市内のホテルで開催を行うといふことで、北海道の会員の皆様に案内状を送付しました数日後に地震が発生しました。

郵便配達が数日止まり、返信が届かない状況もありましたが、23名の参加となりました。

会員の皆様から寄せられましたメッセージの中には、今回の地震で自宅、会社が被災されたという方や、7月に起きた西日本豪雨による派遣中の方もおりました。

第29回となつた会は、磯部会長のあいさつに始まり、途中、写真撮影の後、会員各位の近況報告が行われました。ただ、昨年復活した、皆様が楽しみにしておられた山形物産抽選会などのアトラクションは、地震による流通などの影響もあり、見送られました。

近況報告では皆さん、自安の時間を超えてお話をされ、元気なお姿を拝見することができます

した。また、長らく出席がなかつた学科からも今回出席があり、嬉しい面もありました。

最後は、逍遙歌を皆で齊唱

し、和やかな雰囲気の中、早坂武男氏(林学科41年卒)の締め

で、来年度の再会を固く誓い合

い散会となりました。

本会が来年度も大きな災害がなく迎えられますよう願つております。

(文責: 渡邊誠也(平成8年生物環境学科卒))

農業体験農場・栽培と加工
 Yamagata Agri Academy
山形アグリアカデミー



 おいしい山形

おいしい山形推進機構一般賛助会員・やまがた避難者支援協働ネットワーク会員
 代表 斎藤 博行(昭和45年農学科卒業)
 事務局/〒990-2474山形市大字沼木433-27
 TEL/FAX/023-645-1802 携帯電話/090-8251-3521
 E-mail : saito433@ma.catvy.ne.jp

(有)月山パイロットファーム
 未来を支える「食」を求めて



会長 相馬一廣(昭和45年農学科卒)
 メール fsn01816@bb-town.jp

置賜支部

事務局長

石川 庄一

(昭和52年農学科卒)

本支部は、総会を隔年開催として

おり、来年(平成31年)の開催となりますが、幹事会は毎年1月下旬に寒鯨を開んで開催しています。

会員は約150人ですが、総会の出席者が少なくなっています。以前は同窓会関係者の外に学部の先生も出席されたことから、出席される学科の窓生の参加で盛りあがっていました。

事務局でも多くの同窓生が参加できるような抜本的な対策が必要と感じています。

置賜を走るフラワー長井線(山形鉄道株式会社)は昭和63年10月に旧JR長井線から引継ぎ今年開業30周年を迎えました。

南陽市の赤湯駅から、川西町、長井市を通り白鷹町の荒砥駅までの30.5kmを約1時間で結ぶローカル線です。

フラワー長井線は沿線に花の名所が多いことからその名がつけられ、春は桜から、アヤメ、つつじ、秋には菊の花が楽しめます。

沿線の宮内には日本三熊野の一つである熊野神社があります。奥羽本線を広幅規格の線路で新幹線が走るまでは、直接列車が宮内駅に乗り入れ、全国各地から大勢の参拝者でござわっていました。現在はバスでの観



置賜支部寒鯨幹事会 平成30年1月

「鶴窓会だより」への広告を募集しております。

団体・個人(名刺判)等、受け付けております。事務局までご一報下さい。

山形大学農学部 鶴窓会事務局
TEL / FAX 0235-28-2897(平日8:30~12:30)
E-mail kakusoukai@kdp.biglobe.ne.jp

光客にとって代わりました。

また、沿線には南陽高校、長井高校、長井工業高校そして荒砥高校があり朝夕は元気な高校生の笑顔でいっぱいです。

長井駅は、老朽化した長井市役所が移転して駅舎に隣接するようになつたこと記念した列車もあ

「スウェーデンガールズ」の舞台となつたことを記念した列車もあ

り、列車に乗りながら観光ができる置賜弁での方言ガイドのほか、読み聞かせ列車やハロウイン列車、プロレス列車など多彩なイベントが行われています。左沢駅を結ぶ左荒線構想があつたとのことですが夢に終わったようです。この構想が実現すれば内陸循環鉄道としても別展開があったのかも知れません。

フラワー長井線、今後30年も置賜の住民に親しまれることを念じています。左沢駅を結ぶ左荒線構想があつたとのことですが夢に終わったようです。この構想が実現すれば内陸循環鉄道としても別展開があったのかも知れません。

宮城県支部

支部幹事

高木 康守

(昭和60年園芸学科卒)

卒)、監事に郡山賢一さ

ん(昭和48年農芸化学

科卒)、梁川勝夫さん

(昭和51年農学科卒)

選出されました。今後

2年間の任期よろしく

お願いいたします。

総会後宮城県仙台地方振興事務所農業農村整備部水田施設保全班にお勤めの菅野将央さん(平成10年生物環境学科地域環境科学講座卒)から「マラウイ共和国への技術協力について」と題し講演をいただきました。

総会は、本部から佐藤晨一會長をお迎えし、総勢26名が参加し行わされました。

総会では、富樫千之支部長(昭和51年農業工学科卒)が開会のあいさつを行い、佐藤会長から来賓あいさつをいただきました。その後三浦秀光(昭和48年農学科卒)を議長に選出し、「平成29年度事業報告及び収支決算について」、「平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」の2議案の承認後成29年度事業報告及び収支決算について」、「平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について」の2議案の承認後、「役員改選について」を審議し新役員として支

部長に富樫千之さん(昭和51年農業工学科卒)、副支部長に及川浩好さん(昭和53年農芸化学科)



宮城県支部総会 平成30年6月10日(日) 於:仙台市「ホテル白萩」

福島県支部

支部長

松村 正彦

(昭和56年園芸学科卒)

平成30年度支部総会・懇親会を平成30年10月20日に福島市内の杉妻会館にて開催し、佐藤晨一會長に花を添えていただきました。

総会では、平成29年度事業実績及び収支決算の承認、平成30年度事業計画及び収支予算の決定を頂きました。

また、役員改選では新たに菊地和明支部長、大友勇雄副支部長及び監事2名、幹事4名を選出しました。

参加者は、昭和37年農業工学科卒業の安齋茂紀さんから平成30年食料生命環境学科卒の平敏伸さんまで幅広く、鶴岡での思い出語らいました。

最後に、逍遙歌を合唱し、次回、再会することを誓い合って解散しました。

来年度の同支部総会の開催は、6月に開催することとしておりますので多数の皆様の出席を心からお待ちしております。

県支部のメールアドレスを活用してください。

(福島県支部のメールアドレス)

kakusoukai.fukushima@gmail.com



福島県支部総会 平成30年10月20日(土) 於:福島市「杉妻会館」

会費の納入にご協力下さい。一律2,000円となりました。

〈鶴窓会事務局より〉コンビニでの支払いが可能になりましたので是非ご利用下さい。

山大の卒業生が醸す日本酒
小さくても存在感のある
地元に愛される地酒屋でありたい…
和田酒造合資会社
代表 和田多聞(昭和43年農芸化学科卒)
〒999-3511 西村山郡河北町谷地甲17
E-mail aratama@hinanet.ne.jp
TEL 0237-72-3105
FAX 0237-72-3598
純米吟醸 みどり樹
720ml (税込1,512円)

月山荘 会议・会食・宿泊に
庄内地方の自然の恵みをご用意して
皆様のお越しをお待ち申し上げております。
〒997-0032 山形県鶴岡市上畠町10-77
http://gassanso.jp
電話(0235)23-1125 FAX(0235)23-1199